

# まことにゆかいななかまだ

横須賀市立ろう学校 中高等部通信 第5号

平成28年(2016年)6月7日

## いろいろな箱

5月27日、デフ・パペットシアター・ひとみのみなさんと、7月8日の校内芸術鑑賞会・本公演に向けたワークショップを行いました。

ゲームで楽しんだ後、グループ単位で、最初は1つの箱を何かに見立てて演技を考え、次に複数の箱で演技を考えました。なかなかアイデアが浮かばず、難しかったけれど、仲間と協力した結果、箱がいろいろなものになったので、とても楽しかったですね。ひとみの代表・善岡修さんは、Eテレ『みんなの手話』に出演されています。



5月31日5校時後の心肺蘇生法実技講習会には、中・高等部生徒も参加しました。見慣れない



いダミー人形を怖がっている人もいましたが、AEDの使い方を学ぶことができました。

AEDは命を守る箱。本校にもありますが、どこにあるでしょうか？講習会の最後に、熱中症について学習しました。



ところで、いろいろなことに対応できる人のことを、「あの人は引き出し(抽斗とも書きます)が多い」と表現します。自分の中の引き出しが多くなるように、学校で学習したことを吸収したり、自分で調べたことを身につけたり、人との関わりを大切にしていきましょう。

## 暑かった、熱かった、今年の神体連

6月3日、第46回神奈川県聾学校体育連盟陸上競技大会が三ツ沢公園陸上競技場で行われました。暑い一日でしたが、高1は出場種目(100m、400m、ボール投げ)すべてに優勝、初参加の中1は「転んだらどうしよう。」という開会式前の心配が杞憂に終わり、無事、最初の神体連(100m、ジャベリックスロー)を終えることができました。

また、他校生と話をして交流することもできました。

## 胡瓜が大きくなりました

学校の畑で胡瓜、ピーマン、ゴーヤなどを育てています。高1は大きくなった胡瓜とピーマンを高2にプレゼントしました。

